

みんなの水

- 助成・貸付制度
- 「第46回 水とわたしたち展」の作品募集
- 下水道事業受益者負担金の申告書提出のお願い

4月から高松市上下水道局が変わります!



香川県と県内市町では水道事業の広域化について、平成20年から議論を進めてきました。施設の老朽化による更新費の増大や、人口減少社会の到来による料金収入の減少など、水道事業は数々の課題を抱えていたからです。広域化は、同じような状況にある事業者が共同で事業を行い、スケールメリットを生かした経営の効率化を図ろうという取組です。約9年にわたる協議がまとまり、平成29年11月に「香川県広域水道企業団」が誕生しました。



高松市では平成23年に、経営の効率化を見込んだ上下水道の組織統合を行いました。水道事業は、将来の更新費増大を見据え、広域化に参画するという、新たな経営方針をとることになりました。平成30年4月1日からは、香川県広域水道企業団による水道サービスの提供が始まります。

なお、現在上下水道をご利用の方は、改めて手続きを行う必要はありません。

香川県広域水道企業団とは?

香川用水の水を浄水して各市町に供給する県営水道と、8市8町が運営する16の水道事業者が統合して誕生した組織で、地方公共団体の一種です。

自治体の長によって運営方針を協議しており、災害時には県や各市町と密接に連携するなど、水道水の安定供給を図ります。また、企業団議会を通して、お客さまの声を経営に反映させていきます。

水のことならおまかせ たかのみず博士



水道と下水道は 別々に経営します



県内一水道の試みは、全国でも初めてのことで、設立された企業団を安定的に経営していくため、現時点では下水道事業の統合や共同経営などは行いません。高松市においては、下水道部門は上下水道局から分離し、高松市都市整備局へ組織替えます。

これからも協力体制を維持します

平成30年5月上旬に、水道・下水道ともに執務室が高松市防災合同庁舎(危機管理センター)へ移転します。同一庁舎内で業務の連携を図るとともに、下水道部では、上下水道部門の統合によって培った企業経営の考え方やお客さま第一の運営ノウハウなどを生かしながら、サービス水準の維持・向上に努めます。

水の研究をしている まつこ助手



※イメージ図です。